

堺市高齢者等実態調査報告書 (概要版)

平成29年3月

本市では、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して暮らしていただくことができるよう、「堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、取組みを推進しているところです。

このたび、高齢者の方の生活状況や保健・福祉に関するニーズを把握し、今後の高齢者保健福祉行政のより一層の計画的かつ効果的な推進と、次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

I. 調査の概要

1. 調査の種類と回答者

調査の種類	対象者	調査件数
一般高齢者調査・ 要支援者調査 (介護予防・日常生活圏 域ニーズ調査)	平成28年10月末日現在で下記のいずれかに該当する方 ①要介護等認定を受けていない65歳以上の方 ②要支援認定(要支援1、2)を受けている65歳以上の方 ※一般高齢者と要支援者で調査票を分けています。	10,500件
要介護者調査	平成28年10月末日現在で要介護認定(要介護1～5)を受けている在宅の65歳以上の方 ※介護保険サービス利用者と未利用者(平成28年8月の実績)で調査票を分けています。	3,500件
介護事業者調査	平成28年10月末日現在で、堺市の指定を受けた介護保険事業所を市内に保有している法人	844件

2. 調査期間 平成28年12月16日～平成29年1月24日

3. 回収状況

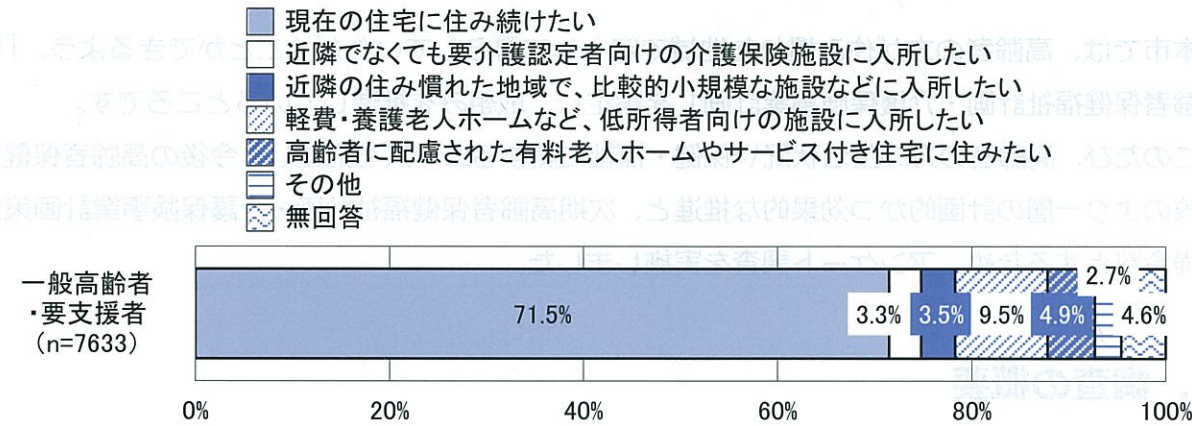
		配布数	有効回収数	有効回収率
一般高齢者調査・ 要支援者調査	一般高齢者	9,611通	7,009通	72.9%
	要支援者	889通	624通	70.2%
要介護者調査	介護保険 サービス利用者	2,839通	1,453通	51.2%
	介護保険 サービス未利用者	661通	322通	48.7%
介護事業者調査		844通	471通	55.8%

II. 調査結果の概要

1. 在宅生活について

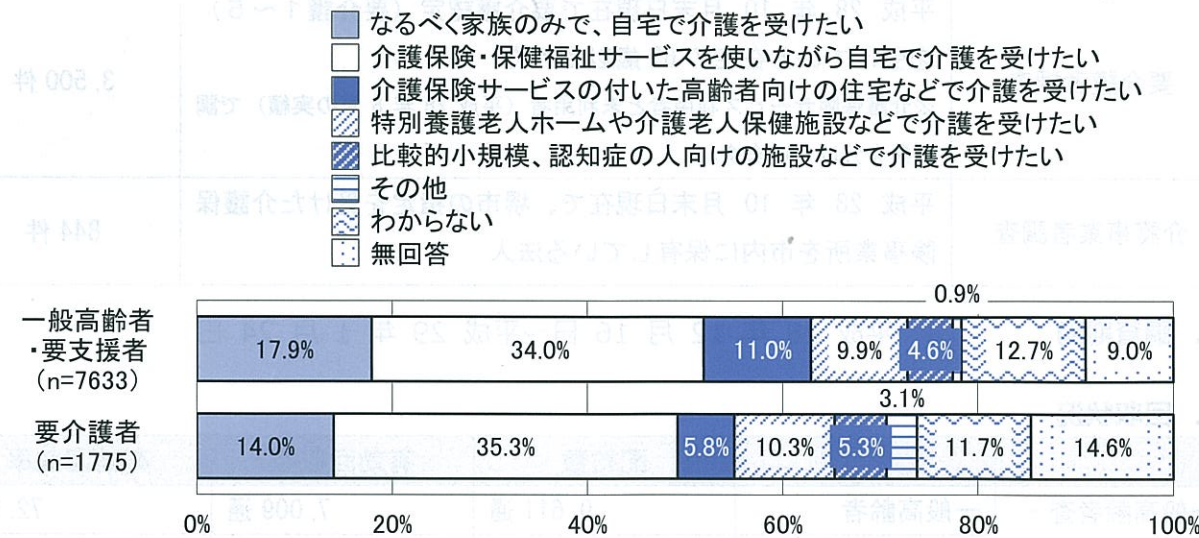
〔将来暮らしたい住宅（一般高齢者調査・要支援者調査）〕

「現在の住宅のまま住みたい」が71.5%となっており、多数が現在の住宅で住み続けることを望んでいます。



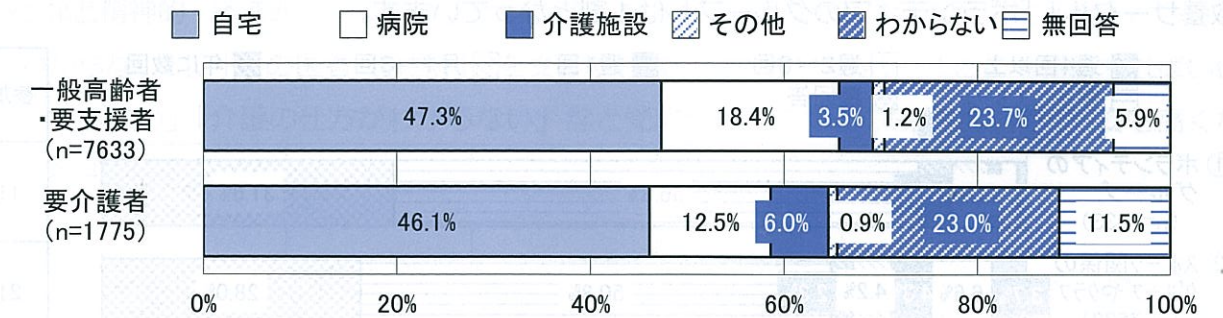
〔介護に対する意向（一般高齢者調査・要支援者調査、要介護者調査）〕

「なるべく家族のみで、自宅で介護を受けたい」、「介護保険サービスや保健福祉サービスを使いながら自宅で介護を受けたい」を合わせた在宅での介護生活を希望する人がいずれも約半数となっています。



〔人生の最期を迎えたい場所（一般高齢者調査・要支援者調査、要介護者調査）〕

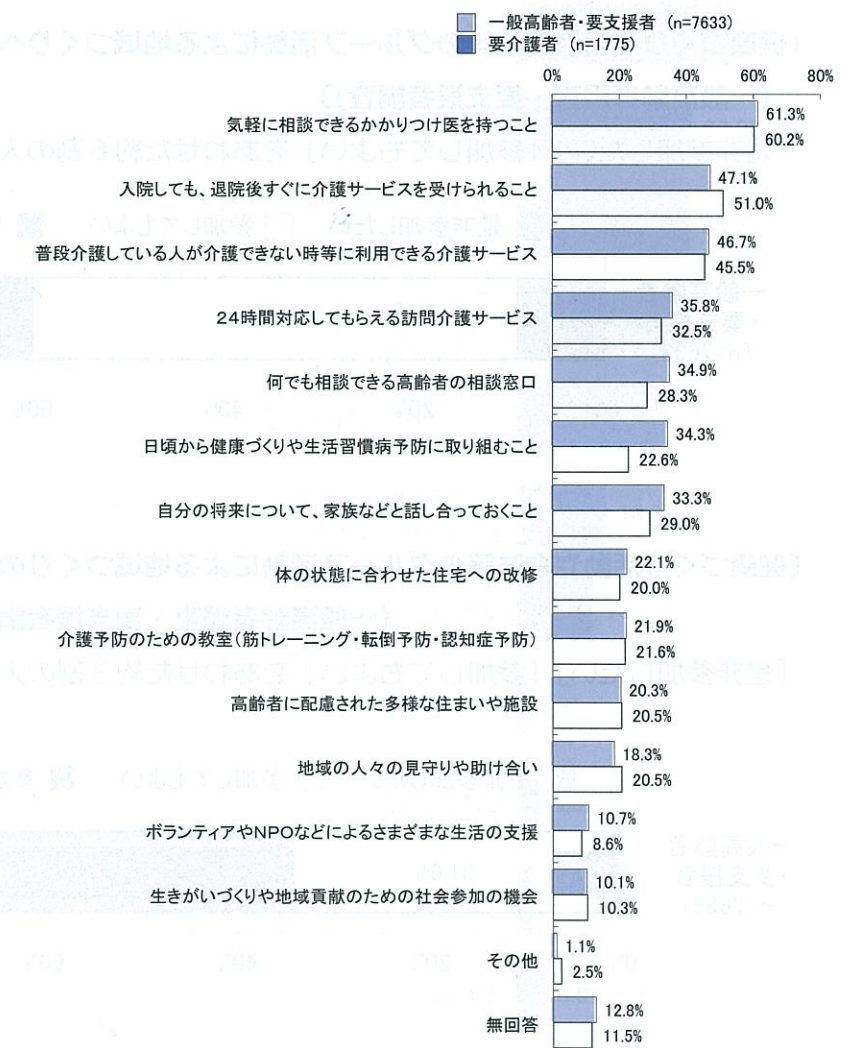
いずれも「自宅」が半数近くを占めている一方で、「わからない」が2割超となっています。「病院」は一般高齢者・要支援者が18.4%となっているのに対して、要介護者は12.5%とやや低くなっています。



2. 住み慣れた地域で暮らし続けることについて

〔自宅や住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこと（一般高齢者調査・要支援者調査、要介護者調査）〕

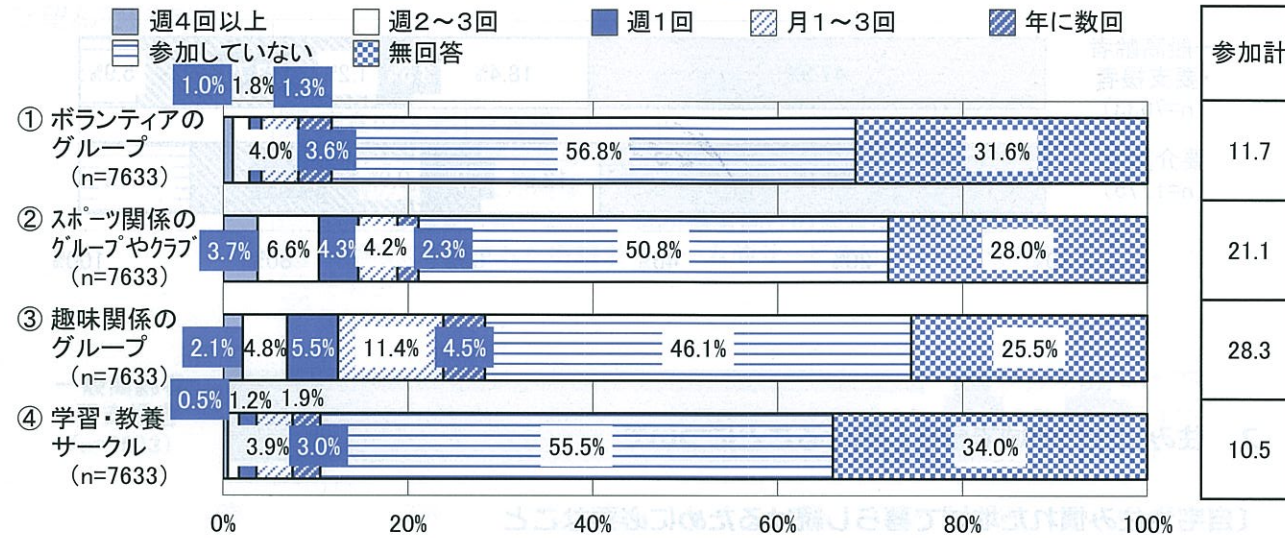
いずれも「気軽に相談できるかかりつけ医を持つこと」、「入院しても、退院後すぐに介護サービスを受けられること」、「普段介護している人が介護できない時等に利用できる介護サービス」、「24時間対応してもらえる訪問介護サービス」、「24時間対応してもらえる訪問介護サービス」が上位となっています。



3. 地域での活動について

〔各種グループ・サークル等への参加頻度（一般高齢者調査・要支援者調査）〕

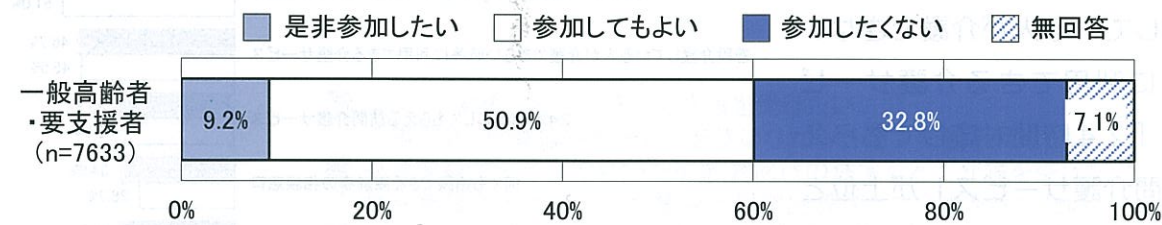
「趣味関係のグループ」への参加が3割弱、「スポーツ関係のグループやクラブ」は2割、「学習・教養サークル」「ボランティアのグループ」は1割となっています。



〔健康づくり活動や趣味等のグループ活動による地域づくりへの参加意向（一般高齢者調査・要支援者調査）〕

〔一般高齢者調査・要支援者調査〕

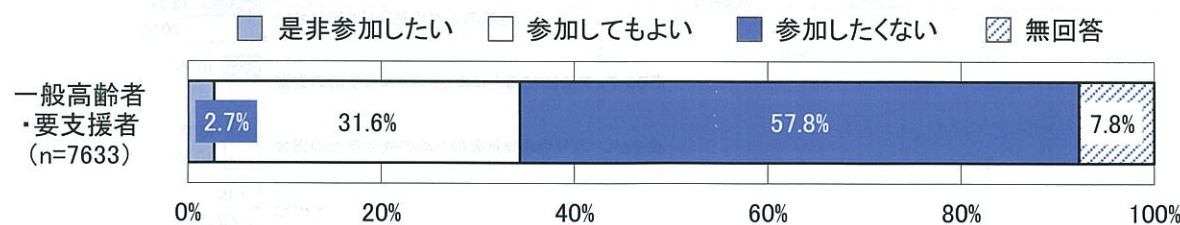
「是非参加したい」「参加してもよい」をあわせた約6割の人が参加意向を示しています。



〔健康づくり活動や趣味等のグループ活動による地域づくりの企画・運営への参加意向（一般高齢者調査・要支援者調査）〕

〔一般高齢者調査・要支援者調査〕

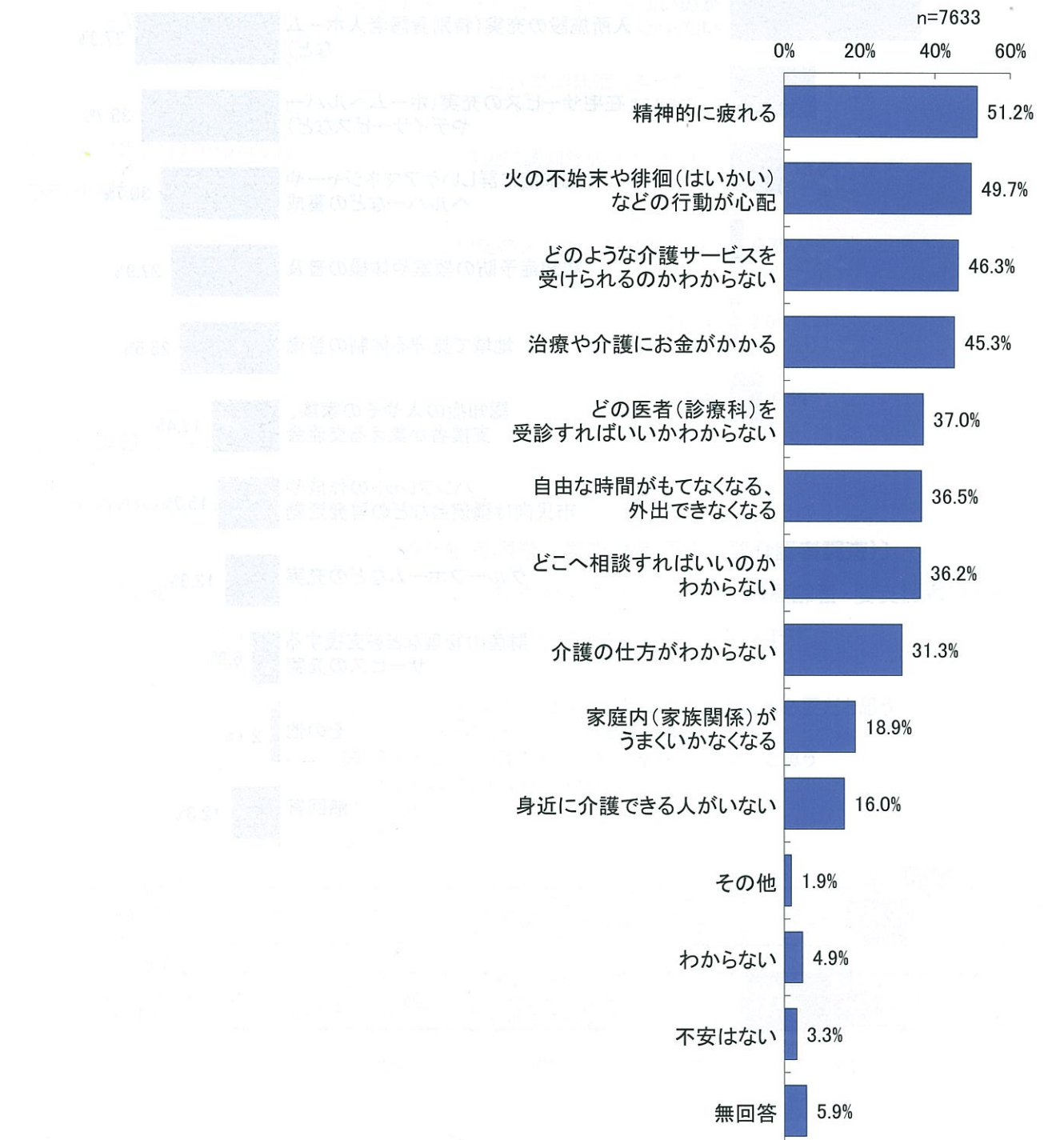
「是非参加したい」「参加してもよい」をあわせた約3割の人が参加意向を示しています。



4. 認知症について

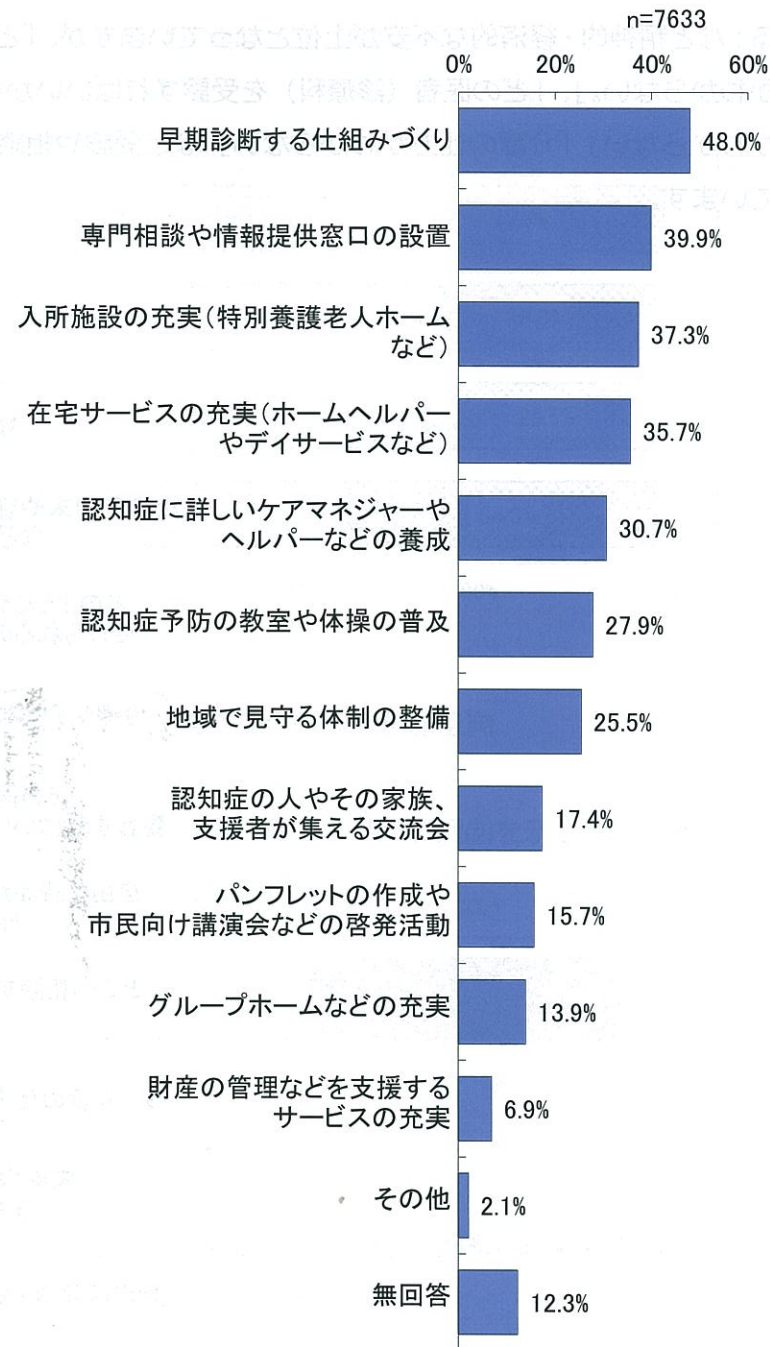
〔認知症になったら不安に思うこと（一般高齢者調査・要支援者調査）〕

「精神的に疲れる」「火の不始末や徘徊（はいかい）などの行動が心配」「治療や介護にお金がかかる」など精神的・経済的な不安が上位となっていますが、「どのような介護サービスを受けられるのかわからない。」「どの医者（診療科）を受診すればいいかわからない」「どこへ相談すればいいのかわからない」「介護の仕方がわからない」など受診や相談先などの情報に関する不安も高くなっています。



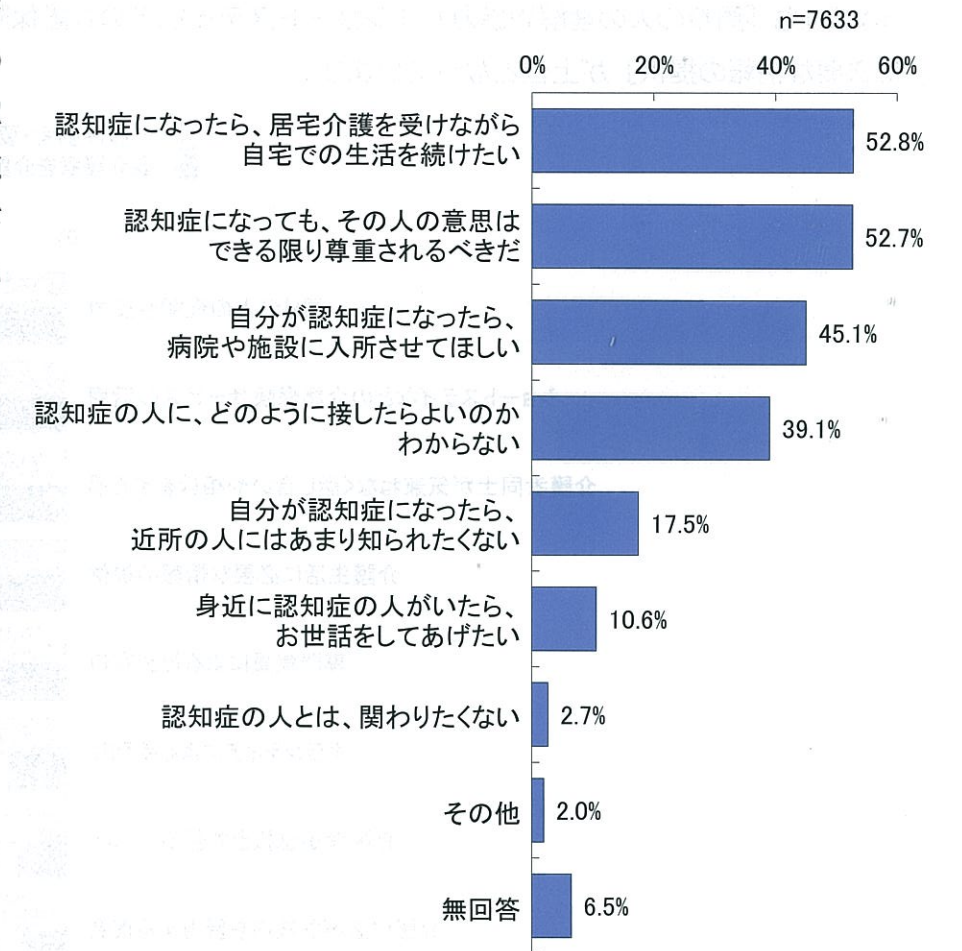
【取り組んでほしいこと（一般高齢者調査・要支援者調査）】

「早期診断する仕組みづくり」「専門相談や情報提供窓口の設置」「入所施設の充実（特別養護老人ホームなど）」「在宅サービスの充実（ホームヘルパーやデイサービスなど）」「認知症に詳しいケアマネジャーやヘルパーなどの養成」などが求められています。



【認知症や認知症の人に対する考え（一般高齢者調査・要支援者調査）】

「認知症になったら、居宅介護を受けながら自宅での生活を続けたい」「自分が認知症になったら、病院や施設に入所させてほしい」がいずれも約半数となっています。また、「認知症になっても、その人の意思はできる限り尊重されるべきだ」が上位でありながら、「認知症の人に、どのように接したらよいかわからない」も約4割みられます。

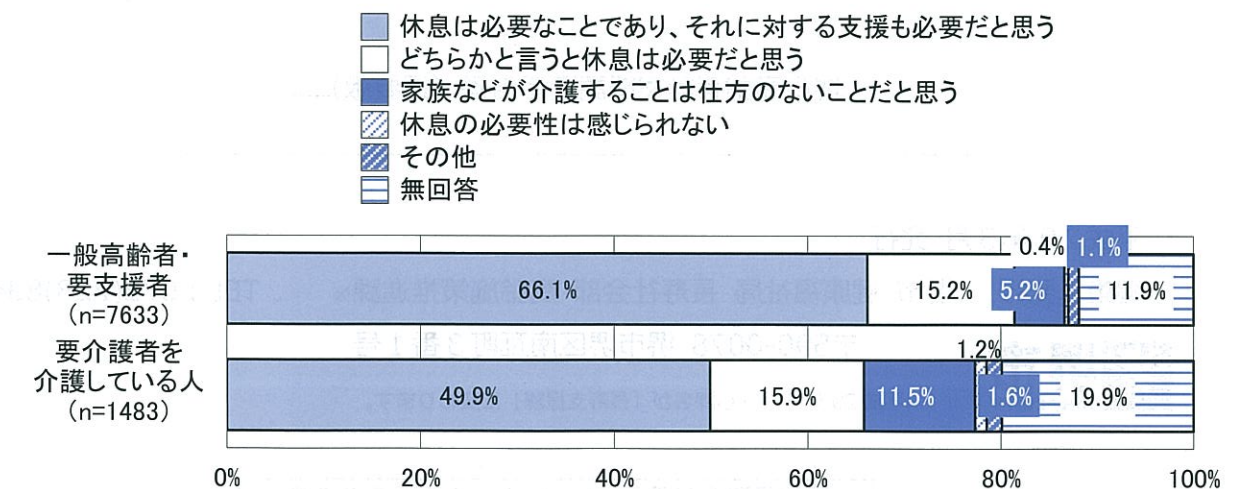


5. 介護者について

【介護者の休息（レスパイト）に対する理解

（一般高齢者調査・要支援者調査、要介護者調査）】

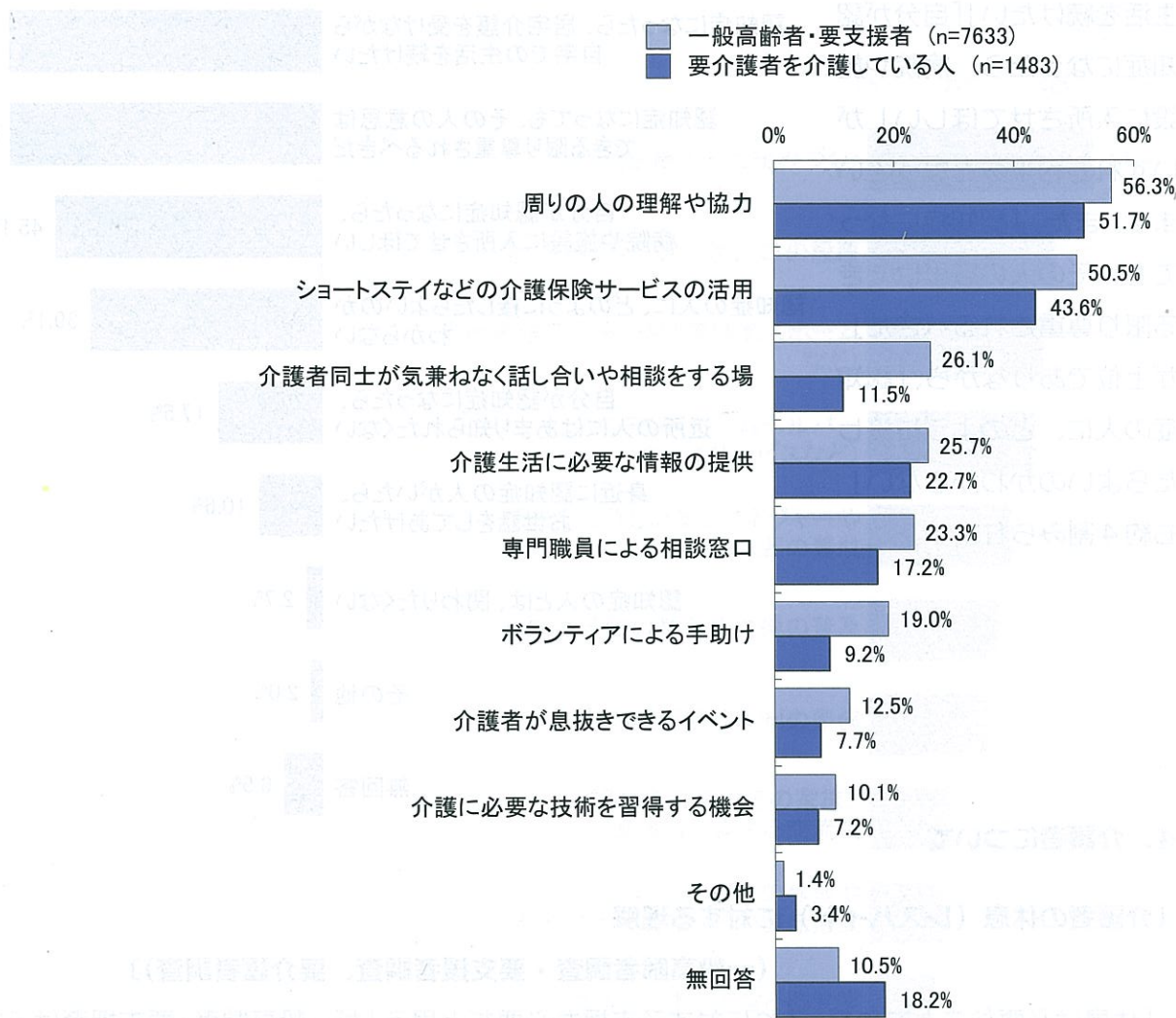
「休息は必要なことであり、それに対する支援も必要だと思う」が一般高齢者・要支援者は66.1%であるのに対し、要介護者を介護している人は49.9%と低くなっています。



〔介護者の介護疲れやストレスケアについて〕

（一般高齢者調査・要支援者調査、要介護者調査）

いずれも「周りの人の理解や協力」、「ショートステイなどの介護保険サービスの活用」「介護生活に必要な情報の提供」が上位となっています。



堺市高齢者等実態調査報告書（概要版）

平成29年3月 発行

編集・発行 堺市 健康福祉局 長寿社会部 高齢施策推進課※

TEL：072(228)8347



〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号

※平成29年4月から課名が「長寿支援課」に変わります。

堺市行政資料番号 1-F4-16-0335